

令和 7 年 1 0 月 建設水道委員会資料

第 9 2 号議案 令和 6 年度長崎市下水道事業会計決算

目 次	ページ
1 業務実績表	2
参考 (1) 下水道使用料の動向と見込みについて	3
(2) 下水道事業会計収支状況の今後の見通し	4
2 収益的収入及び支出 (税込)	5 ~ 9
3 資本的収入及び支出 (税込)	10 ~ 14
4 職員数の対前年度決算比較	15
5 収益的収入及び支出の対前年度決算比較 (税抜) 等	16 ~ 19
6 経営状況の推移	20
7 企業債の状況	21
8 収入未済調	22
9 不納欠損処分調	23
10 主要な建設改良事業	24 ~ 43

上下水道局

令和 7 年 1 0 月

1 業 務 実 績 表

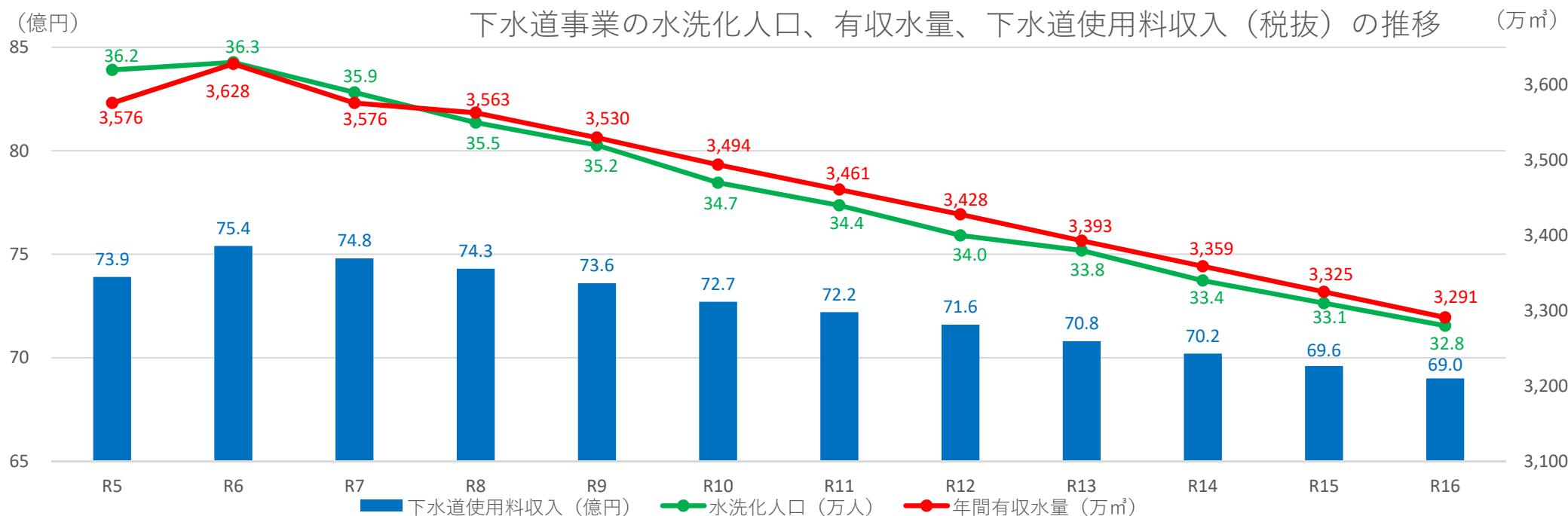
No.	区 分	単位	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比 較	
					増 減 (A) - (B)	伸率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \%$
※	国勢調査に基づく推計人口	人	385,105	389,895	△ 4,790	△ 1.2
1	住民基本台帳登録人口	人	388,261	393,052	△ 4,791	△ 1.2
2	処理区域内人口	人	373,511	371,559	1,952	0.5
3	処理区域内戸数	戸	196,983	193,433	3,550	1.8
4	水洗化人口	人	363,046	361,645	1,401	0.4
5	水洗化戸数	戸	191,255	188,074	3,181	1.7
6	普及率 (人)	%	96.2	94.5	1.7	—
7	水洗化率	%	97.2	97.3	△ 0.1	—
8	年間総処理水量	m ³	43,608,665	43,685,876	△ 77,211	△ 0.2
9	1日平均処理水量	m ³	119,476	119,360	116	0.1
10	年間有収水量	m ³	36,281,052	35,761,184	519,868	1.5
11	1日平均有収水量	m ³	99,400	97,708	1,692	1.7
12	年間有収率	%	83.2	81.9	1.3	—
13	1日最大処理水量	m ³	135,351	139,254	△ 3,903	△ 2.8
14	1人1日平均有収水量	ℓ	274	270	4.0	1.5
15	使用料単価	円/m ³	207.94	206.54	1.40	0.7
16	汚水処理原価	円/m ³	168.99	240.48	△ 71.49	△ 29.7

参 考 (集 排 を 除 く)	
令和 6 年度 (C)	増減 (C) - (B)
385,105	△ 4,790
388,261	△ 4,791
367,242	△ 4,317
193,575	142
357,456	△ 4,189
188,209	135
94.6	0.1
97.3	—
42,985,756	△ 700,120
117,769	△ 1,591
35,731,201	△ 29,983
97,894	186
83.1	1.2
133,156	△ 6,098
274	4.0
208.14	1.60
172.23	△ 68.25

(1) 下水道使用料の動向と見込みについて

下水道使用料は人口減少等に伴う有収水量の減により、今後は減少傾向が続く見通し

下水道使用料の令和6年度の決算額は7,544,118,629円となっており、予算現額7,474,408,000円を上回っているが、これは、一般家庭における夏季の使用水量が見込みを上回ったこと及び大型商業施設の使用水量が見込みを上回ったこと等によるもの



対前年度比較

(単位: 円・%)

		R6決算①	R5決算②	①-②	
下水道使用料		7,544,118,629	7,385,988,689	158,129,940	2.1%
(内訳)	一般家庭	4,519,496,085	4,447,864,769	71,631,316	1.6%
	事業所	3,024,622,544	2,938,123,920	86,498,624	2.9%
下水道使用料 (集排を除く)※		7,437,082,115	7,385,988,689	51,093,426	0.7%
(内訳)	一般家庭	4,446,512,656	4,447,864,769	△1,352,113	0.0%
	事業所	2,990,569,459	2,938,123,920	52,445,539	1.8%

予算決算比較

(単位: 円・%)

		R6予算③	R6決算①	①-③	
下水道使用料		7,474,408,000	7,544,118,629	69,710,629	0.9%
(内訳)	一般家庭	4,457,106,000	4,519,496,085	62,390,085	1.4%
	事業所	3,017,302,000	3,024,622,544	7,320,544	0.2%

※R6決算については、集落排水事業分107,036,514円を含んだ額となっているため、参考として集落排水事業分を除いた額を掲載

(2) 下水道事業会計収支状況の今後の見通し

(単位:億円)

年度			R5 (決算)	R6 (決算)	R7 (予算)	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R7~R16 計
収益的収支 (税抜き)	収入	下水道使用料	74	75	75	74	74	73	72	72	71	70	70	69	720
		長期前受金戻入	30	23	23	24	25	27	25	25	25	26	25	25	250
		その他	19	21	22	20	19	26	23	21	20	19	19	19	208
		計	123	119	120	118	118	126	120	118	116	115	114	113	1,178
	支出	人件費	5	5	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	59
		維持管理費ほか	34	33	38	42	39	38	38	39	40	41	41	42	398
		減価償却費等	81	62	62	64	65	74	68	67	67	68	69	68	672
		支払利息	7	7	6	6	5	6	5	5	4	4	4	4	49
	計	127	107	112	117	115	124	117	117	117	119	120	120	1,178	
	純利益		△ 4	12	8	1	3	2	3	1	△ 1	△ 4	△ 6	△ 7	0
資本的収支 (税込み)	収入	企業債	24	8	42	38	57	14	15	8	18	19	3	10	224
		出資金	21	20	21	21	19	17	16	14	13	12	11	10	154
		その他	21	13	23	17	39	17	21	8	24	22	9	15	195
		計	66	41	86	76	115	48	52	30	55	53	23	35	573
	支出	建設改良費	42	26	65	64	106	48	55	27	61	59	25	41	551
		企業債償還金	58	57	57	55	52	45	44	40	36	35	33	29	426
		その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		計	101	84	123	120	159	94	100	68	98	95	59	71	987
	資本的収支差引		△ 35	△ 43	△ 37	△ 44	△ 44	△ 46	△ 48	△ 38	△ 43	△ 42	△ 36	△ 36	△ 414
補填 財源 発生額	内部留保資金等	53	41	42	44	44	49	45	45	45	46	44	45	449	
	利益剰余金	△ 4	12	8	1	3	2	3	1	△ 1	△ 4	△ 6	△ 7	0	
	計	49	53	50	45	47	51	48	46	44	42	38	38	449	
当年度資金収支			14	10	13	1	3	5	0	8	1	0	2	2	35
累積資金残高			124	134	147	148	151	156	156	164	165	165	167	169	

R9年度に建設改良費が大幅増となっている理由

- ・ 中部下水処理場解体工事、し尿等受入施設建設工事などの統合事業に加え、西部下水処理場受変電改築工事や三重下水処理場中央監視制御設備改築工事といったストックマネジメント事業など、大型工事を予定しており、支出が増となることによるもの

2 収益的収入及び支出（税込）

（１）収入

（単位：円）

科 目		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 額 (B) - (A)
下 水 道 事 業 収 益		12,683,143,000	12,710,304,672	27,161,672
	営 業 収 益	9,981,213,000	9,985,028,311	3,815,311
	下 水 道 使 用 料	8,221,847,000	8,298,516,669	76,669,669
	負 担 金	1,579,333,000	1,573,671,950	△ 5,661,050
	補 助 金	178,562,000	111,729,212	△ 66,832,788
	その他の営業収益	1,471,000	1,110,480	△ 360,520
	営 業 外 収 益	2,700,602,000	2,723,121,370	22,519,370
	受 取 利 息	3,407,000	11,193,042	7,786,042
	負 担 金	398,697,000	390,743,000	△ 7,954,000
	長期前受金戻入	2,289,290,000	2,302,403,692	13,113,692
	雑 収 益	9,208,000	18,781,636	9,573,636
	特 別 利 益	1,328,000	2,154,991	826,991
	固 定 資 産 売 却 益	1,000	—	△ 1,000
	過年度損益修正益	6,000	829,290	823,290
	そ の 他 特 別 利 益	1,321,000	1,325,701	4,701

決算額の主な内容

(科目) 下水道事業収益・営業収益・下水道使用料 8,298,516,669 円

(単位：m ³)			
区分	予 算 (A)	決 算 (B)	差引(B)－(A)
有収水量	36,026,000	36,281,052	255,052

(科目) 下水道事業収益・営業収益・負担金 1,573,671,950 円

(決算額の内訳)

一般会計繰出金 1,573,671,950 円

(科目) 下水道事業収益・営業外収益・負担金 390,743,000 円

(決算額の内訳)

一般会計繰出金 390,743,000 円

(科目) 下水道事業収益・営業外収益・長期前受金戻入 2,302,403,692 円

(決算額の内訳)

・資産の減価償却等に合わせて、当該資産の使用期間、その取得財源を収益として割り振るもの（帳簿上の処理で、実際の現金収入はない） 2,302,403,692 円

差引額の主な理由

(科目) 下水道事業収益・営業収益・下水道使用料 76,669,669 円

・一般家庭における夏季の使用水量が見込みを上回ったこと及び大型商業施設の使用水量が見込みを上回ったこと等による増 76,669,669 円

(科目) 下水道事業収益・営業収益・補助金 △ 66,832,788 円

・補助金の対象である集落排水事業の管渠費及び処理場費の修繕費において、施設緊急修繕及び道路改良等による依頼工事が見込みを下回ったことにより支出が減したため、集落排水事業収支補てん補助金額が減したもの △ 66,832,788 円

(2) 支出

(単位：円)

科 目			予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	不 用 額 (A) - (B)	執 行 率 (B) / (A)
下 水 道 事 業 費 用			11,738,431,000	11,342,460,373	395,970,627	96.6%
営 業 費 用			10,677,273,959	10,317,773,376	359,500,583	96.6%
人 件 費	給 料 手 当 賞 与 法 定 福 利 費 法 定 福 利 費 引 当 金 繰 入 額 退 職 給 付 費 報 酬		233,987,492	230,229,530	3,757,962	98.4%
			126,015,013	119,728,546	6,286,467	95.0%
			33,668,563	29,504,772	4,163,791	87.6%
			76,081,635	71,629,660	4,451,975	94.1%
			8,298,189	5,869,344	2,428,845	70.7%
			18,413,000	12,904,908	5,508,092	70.1%
			14,834,508	14,614,840	219,668	98.5%
	小 計		511,298,400	484,481,600	26,816,800	94.8%
	物 件 費	旅 費	6,132,932	2,613,167	3,519,765	42.6%
		報 償 費	579,000	532,371	46,629	91.9%
		被 服 費	520,000	368,441	151,559	70.9%
		備 消 品 費	21,211,181	14,609,764	6,601,417	68.9%
		燃 料 費	1,163,389	943,369	220,020	81.1%
		光 熱 水 費	1,861,989	1,153,511	708,478	62.0%
		印 刷 製 本 費	953,000	355,410	597,590	37.3%
		通 信 運 搬 費	16,147,735	15,738,820	408,915	97.5%
		委 託 料	2,889,168,702	2,780,557,353	108,611,349	96.2%
		手 数 料	4,961,980	3,411,789	1,550,191	68.8%
		賃 借 料	8,373,351	3,717,490	4,655,861	44.4%
		修 繕 費	457,084,983	311,592,144	145,492,839	68.2%
		路 面 復 旧 費	2,000,000	719,784	1,280,216	36.0%
	等 費	動 力 費	73,994,830	64,471,183	9,523,647	87.1%
		薬 品 費	2,897,000	1,949,552	947,448	67.3%
		材 料 費	21,156,839	15,774,114	5,382,725	74.6%
		補 償 金	1,250,000	1,186,700	63,300	94.9%
		研 修 費	1,746,000	1,048,689	697,311	60.1%
		諸 謝 金	174,000	—	174,000	0.0%
		交 際 費	100,000	79,691	20,309	79.7%
		厚 生 費	55,000	27,500	27,500	50.0%
		補 助 交 付 金	9,240,848	3,907,636	5,333,212	42.3%
		負 担 金	445,583,000	405,874,634	39,708,366	91.1%
		庁 舎 管 理 負 担 金	24,005,241	20,716,430	3,288,811	86.3%
		電 子 計 算 分 担 金	12,230,000	7,809,315	4,420,685	63.9%

(2) 支出 つづき

(単位：円)

科 目		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	不用額 (A) - (B)	執 行 率 (B) / (A)
物件 費等	保 險 料	3,911,000	2,340,116	1,570,884	59.8%
	貸 倒 損 失	33,559	—	33,559	0.0%
	貸倒引当金繰入額	4,049,000	3,420,405	628,595	84.5%
	減 価 償 却 費 ※ 1	6,133,579,000	6,153,638,264	△ 20,059,264	100.3%
	固 定 資 産 除 却 費	21,710,000	14,650,218	7,059,782	67.5%
	たな卸資産減耗費	101,000	83,916	17,084	83.1%
	材 料 売 却 原 価	1,000	—	1,000	0.0%
	小 計	10,165,975,559	9,833,291,776	332,683,783	96.7%
	営 業 外 費 用	1,022,815,000	996,152,155	26,662,845	97.4%
	企 業 債 利 息	692,307,000	670,331,261	21,975,739	96.8%
特 別	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	328,635,000	323,089,700	5,545,300	98.3%
	不用品売却原価※1	1,510,000	2,731,194	△ 1,221,194	180.9%
	貸 倒 損 失	3,000	—	3,000	0.0%
	貸倒引当金繰入額	360,000	—	360,000	0.0%
	特 別 損 失	37,342,041	28,534,842	8,807,199	76.4%
	固 定 資 産 売 却 損 ※ 2	15,016,000	15,015,251	749	100.0%
予 備	固 定 資 産 譲 渡 損	1,000	—	1,000	0.0%
	過 年 度 損 益 修 正 損	14,382,870	5,813,299	8,569,571	40.4%
	そ の 他 特 別 損 失	5,390,130	5,154,251	235,879	95.6%
	手 当 等	2,107,424	2,107,424	—	100.0%
	法 定 福 利 費	422,176	422,176	—	100.0%
	貸倒引当金繰入額	22,441	22,441	—	100.0%
予 備 費		1,000,000	—	1,000,000	0.0%
予 備 費		1,000,000	—	1,000,000	0.0%

収支差引 (1) - (2)	944,712,000	1,367,844,299	
----------------	-------------	---------------	--

※1 減価償却費等は実際の現金支出がないため、予算現額を上回ることが可能

※2 固定資産売却損については、旧北部下水処理場用地を売却した際、帳簿価格に満たなかった分について計上

不用額の主な理由

(科目) 下水道事業費用・営業費用・修繕費 145,492,839 円

- ・ 処理場費において、南部新地中継ポンプ場ほか破砕機整備工事の
仕様見直し及び入札差金により減したこと等による減 99,171,874 円

(科目) 下水道事業費用・営業費用・委託料 108,611,349 円

- ・ 処理場費において、脱水ケーキ等搬出处分業務委託契約単価及び
数量が予定を下回ったことによる減 80,347,944 円

委託料の主な明細

(単位：円)

No.	委 託 件 名	委 託 先	決 算 額	契約方法	当初契約総額	長 期 契 約 の 履 行 期 間 等
1	西部下水処理場維持管理業務委託	(株)ナガネツ	930,204,000	制 限 付	2,673,000,000	R4年度～R7年度 債務負担行為
2	南部下水処理場維持管理業務委託	(株)協環	498,960,000	制 限 付	1,496,880,000	R4年度～R7年度 長期継続契約
3	三重下水処理場維持管理業務委託	(株)長崎タイセイ	313,500,000	制 限 付	940,500,000	R4年度～R7年度 長期継続契約
4	西部下水処理場ほか脱水ケーキ等搬出処分業務委託	長崎三共有機(株)	303,786,777	制 限 付		
5	東部下水処理場維持管理業務委託	シンセイテクノス(株)	297,000,000	制 限 付	891,000,000	R4年度～R7年度 長期継続契約
6	南部下水処理場ほか脱水ケーキ等搬出処分業務委託	ハラサンギョウ(株)	192,284,750	制 限 付		
7	長崎市公共下水道管路施設維持管理業務委託	(株)イワナガ	55,907,500	制 限 付		
8	伏越・マンホールポンプ人孔清掃・ポンプ圧送先点検業務委託	(株)長崎環境美化	32,032,000	制 限 付		
9	野母終末処理場ほか運転管理業務委託	(有)三和清掃社	19,008,000	随 意 契 約		
10	琴海中部地区クリーンセンターほか運転管理業務委託	琴海清掃(有)	18,700,000	随 意 契 約		

3 資本的收入及び支出（税込）

（１）収入

（単位：円）

科 目	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 額 (B) - (A)	差引額のうち 翌年度繰越額
資 本 的 収 入	6,859,733,259	4,127,735,031	△ 2,731,998,228	1,643,837,275
企 業 債	2,612,600,000	769,700,000	△ 1,842,900,000	863,300,000
企 業 債	2,612,600,000	769,700,000	△ 1,842,900,000	863,300,000
出 資 金	2,045,114,000	2,045,387,214	273,214	—
他 会 計 出 資 金	2,045,114,000	2,045,387,214	273,214	—
受益者負担金・分担金	9,327,000	9,080,694	△ 246,306	—
受益者負担金・分担金	9,327,000	9,080,694	△ 246,306	—
工 事 負 担 金	34,805,000	27,689,385	△ 7,115,615	—
他 会 計 負 担 金	5,905,000	4,480,085	△ 1,424,915	—
そ の 他 負 担 金	28,900,000	23,209,300	△ 5,690,700	—
補 助 金	1,849,294,059	1,062,789,384	△ 786,504,675	740,000,675
国 庫 補 助 金	1,849,294,059	1,062,789,384	△ 786,504,675	740,000,675
補 償 金	132,524,200	37,905,887	△ 94,618,313	40,536,600
補 償 金	132,524,200	37,905,887	△ 94,618,313	40,536,600
貸 付 金 償 還 金	17,332,000	16,445,030	△ 886,970	—
水洗便所改築資金 貸 付 金 償 還 金	17,332,000	16,445,030	△ 886,970	—
固 定 資 産 売 却 代 金	158,737,000	158,737,437	437	—
固 定 資 産 売 却 代 金	158,737,000	158,737,437	437	—

決算額の主な内容

(科目) 資本的収入・企業債・企業債	769,700,000 円
(決算額の内訳)	
・ 公共下水道事業費	265,500,000 円
・ 下水道事業債（特別措置分）	483,200,000 円
・ 特定環境保全公共下水道事業費	17,400,000 円
・ 過疎対策事業費	3,000,000 円
・ 辺地対策事業費	600,000 円
(科目) 資本的収入・出資金・他会計出資金	2,045,387,214 円
(決算額の内訳)	
一般会計繰出金	2,045,387,214 円
・ 企業債元金等 （企業債元金償還、雨水処理に要する資本費ほか）	
(科目) 資本的収入・補助金・国庫補助金	1,062,789,384 円
(決算額の内訳)	
・ 公共下水道事業国庫補助金	1,036,913,404 円
・ 特定環境保全公共下水道事業国庫補助金	23,296,980 円
・ 農業集落排水事業国庫補助金	2,579,000 円

差引額の主な理由

(科目) 資本的収入・企業債・企業債	△ 1,842,900,000 円
・ 企業債の対象事業費が見込みを下回ったこと及び 企業債残高の縮減に向けた取組に加え、金利上昇 の情勢を鑑み、企業債の新規借入を抑制したこと による減	△ 979,600,000 円
・ 国の1次補正予算等に伴う事業費の繰越による減	△ 863,300,000 円
(科目) 資本的収入・補助金・国庫補助金	△ 786,504,675 円
・ 国の1次補正予算等に伴う事業費の繰越による減	△ 740,000,675 円

(2) 支出

(単位：円)

科 目		予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	繰 越 額 (C)	不 用 額 (A) - (B) - (C)	執行率 (B) / (A-C)
資 本 的 支 出		10,647,206,796	8,436,925,645	1,853,454,094	356,827,057	95.9%
建 設 改 良 費	建 設 改 良 費	4,769,108,796	2,590,391,588	1,853,454,094	325,263,114	88.8%
	単 独 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	847,971,487	523,303,374	238,094,340	86,573,773	85.8%
	単 独 公 共 下 水 道 雨 水 建 設 事 業 費	44,937,000	19,663,664	—	25,273,336	43.8%
	単 独 特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 費	2,070,000	401,938	—	1,668,062	19.4%
	単 独 農 業 集 落 排 水 施 設 建 設 事 業 費	5,386,000	1,381,166	—	4,004,834	25.6%
	単 独 漁 業 集 落 排 水 施 設 建 設 事 業 費	3,435,000	1,170,051	—	2,264,949	34.1%
	補 助 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	3,410,164,084	1,845,962,442	1,538,578,002	25,623,640	98.6%
	補 助 特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 費	61,580,000	45,912,246	—	15,667,754	74.6%
	補 助 農 業 集 落 排 水 施 設 建 設 事 業 費	5,159,000	5,159,000	—	—	100.0%
	汚 水 改 良 事 業 費	268,542,215	76,051,402	50,573,500	141,917,313	34.9%
	新 市 庁 舎 建 設 事 業 費	60,277,010	34,068,758	26,208,252	—	100.0%
	営 業 設 備 費	54,616,000	32,713,725	—	21,902,275	59.9%
	リ ー ス 債 務 支 払 額	4,971,000	4,603,822	—	367,178	92.6%
	企 業 債 償 還 金	5,812,932,000	5,786,980,057	—	25,951,943	99.6%
	企 業 債 償 還 金	5,812,932,000	5,786,980,057	—	25,951,943	99.6%
投 資		65,166,000	59,554,000	—	5,612,000	91.4%
財 補 源	長 期 貸 付 金	15,166,000	9,554,000	—	5,612,000	63.0%
	投 資 有 価 証 券 購 入 費	50,000,000	50,000,000	—	—	100.0%
収支差引A(1)-(2)		△ 3,787,473,537	△ 4,309,190,614			
翌年度繰越工事資金B		—	△ 346,951,500			
資本の収支不足額A+B		△ 3,787,473,537	△ 4,656,142,114			
財 補 源	当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	85,075,000	116,432,902			
	繰 越 工 事 資 金	251,609,050	251,609,050			
	損 益 勘 定 留 保 資 金	2,358,089,487	3,195,400,202			
	減 債 積 立 金	1,092,700,000	1,092,699,960			

繰越額の内訳

(工期延長による繰越)

繰越の主な理由	件数	金額
半導体の供給不足により機器の納入が遅れ、不測の日数を要したため	1件	306,703,489 円
中部下水処理場ほか解体において、想定を超える地下部浸水があり、排水作業に不測の日数を要したことなどにより、年度内に事業が完了しないため	1件	352,000,000 円
負担金を支出している市庁舎跡地再整備事業において、年度内に事業が完了しないため	1件	26,208,252 円
関係機関との工程調整のため	1件	40,573,500 円
合 計	4件	725,485,241 円

(年度内に工期設定できなかったことによる繰越)

繰越の主な理由	件数	金額
国の1次補正予算に伴う事業が年度内に完了しないため	16件	980,937,000 円
市が行う新設道路の用地交渉に不測の日数を要し、十分な工期を設定できなかったため	1件	97,476,623 円
工事施工上の都合により施工方法等の検討に不測の日数を要したため ほか	3件	49,555,230 円
合 計	20件	1,127,968,853 円

不用額の主な理由

(科目) 資本的支出・建設改良費・単独公共下水道建設事業費	86,573,773 円
-------------------------------	--------------

- ・ 籠町ほか内径 300 耗污水管推進工事において、立坑の箇所数を減したこと（4箇所→3箇所）及び日進量の変更に伴い、設計を見直したと、魚の町ほか内径 250 耗污水管更生工事において、設計を見直したと等による減

(科目) 資本的支出・建設改良費・補助公共下水道建設事業費	25,623,640 円
-------------------------------	--------------

- ・ 西部下水処理場し尿等受入施設実施設計（詳細設計）書作成委託において、場内整備を簡易的なものにするなど設計内容を見直したと等による減

(科目) 資本的支出・建設改良費・污水改良事業費	141,917,313 円
--------------------------	---------------

- ・ 滑石 5 丁目内径 250 耗污水管移設工事において、長崎県施工の道路拡幅工事の遅れにより、管の撤去工事が令和 7 年度に先送りとなったと等による減

4 職員数の対前年度決算比較

(単位：円・人)

		令和6年度	令和5年度	増減額
人件費（税込）		654,937,240	685,667,476	△ 30,730,236
内訳	収益的支出	484,481,600	516,474,678	△ 31,993,078
	資本的支出	170,455,640	169,192,798	1,262,842
職員数		78	80	△ 2

(職員数内訳)

(単位：人)

職種	区分	令和7年3月31日 現在職員数	令和6年3月31日 現在職員数	差引増減
事務職員		19	19	—
技術職員		59	61	△ 2
合計		78	80	△ 2

人件費の増減理由

- ・ 人員の減及び新陳代謝等による退職給付引当金の減による減

職員数の増減理由

- ・ 技術職員 退職者、定員適正化による減（2名）

5 収益的収入及び支出の対前年度決算比較（税抜）等

（１）収入（決算書２６ページ）

（単位：円）

区 分		令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	差 引 増 減 (A) - (B)
下水道事業収益		11,955,247,057	12,327,253,422	△ 372,006,365
営 業	営 業 収 益	9,230,630,271	8,879,323,358	351,306,913
	下 水 道 使 用 料	7,544,118,629	7,385,988,689	158,129,940
	負 担 金	1,573,671,950	1,476,841,485	96,830,465
	補 助 金	111,729,212	8,866,124	102,863,088
	その他の営業収益	1,110,480	7,627,060	△ 6,516,580
	営 業 外 収 益	2,722,461,795	3,447,143,567	△ 724,681,772
	受 取 利 息	11,193,042	2,459,024	8,734,018
	負 担 金	390,743,000	412,402,000	△ 21,659,000
	長期前受金戻入	2,302,403,692	3,023,654,550	△ 721,250,858
	雑 収 益	18,122,061	8,627,993	9,494,068
	特 別 利 益	2,154,991	786,497	1,368,494
	過年度損益修正益	829,290	786,497	42,793
	その他特別利益	1,325,701	—	1,325,701

参 考（集排を除く）	
令和６年度 (C)	増 減 (C) - (B)
11,404,678,615	△ 922,574,807
8,806,740,654	△ 72,582,704
7,437,082,115	51,093,426
1,355,082,950	△ 121,758,535
13,480,929	4,614,805
1,094,660	△ 6,532,400
2,595,788,089	△ 851,355,478
11,193,042	8,734,018
368,301,000	△ 44,101,000
2,198,327,178	△ 825,327,372
17,966,869	9,338,876
2,149,872	1,363,375
828,441	41,944
1,321,431	1,321,431

収入増減額の主な理由

(科目) 下水道事業収益・営業収益・下水道使用料 158,129,940 円

- ・集落排水事業を法適用したことに伴い、会計を下水道事業へ統合したことによる集落排水事業分107,036,514円の増加及び大型商業施設の使用水量が増加したことによる増

有収水量前年度比較表

(単位：m³)

	令和6年度	令和5年度	差引増減
公共下水道事業	35,731,201	35,761,184	△ 29,983
集落排水事業	549,851	—	549,851
計	36,281,052	35,761,184	519,868

(科目) 下水道事業収益・営業収益・補助金 102,863,088 円

- ・集落排水事業収支補てん補助金の皆増 98,248,283 円

(科目) 下水道事業収益・営業外収益・長期前受金戻入 △ 721,250,858 円

- ・中部下水処理場の機能停止に伴う帳簿上の処理が皆減となったこと等による減

【参考】収入増減額の主な理由（集排を除く）

(科目) 下水道事業収益・営業収益・下水道使用料 51,093,426 円

- ・大型商業施設の使用水量が増加したことによる増

(科目) 下水道事業収益・営業収益・負担金 △ 121,758,535 円

- ・前々年度の不明水が減少したことによる不明水処理負担金の減
- ・企業債残高が減少したことによる企業債償還金に係る負担金等の減

(2) 支出 (決算書27ページ)

(単位:円)

区 分		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	差 引 増 減 (A) - (B)	参 考 (集 排 を 除 く)	
					令和6年度 (C)	増 減 (C) - (B)
下 水 道 事 業 費 用		10,706,428,158	12,694,541,887	△ 1,988,113,729	10,281,280,376	△ 2,413,261,511
	営 業 費 用	9,994,386,377	11,947,418,291	△ 1,953,031,914	9,597,233,841	△ 2,350,184,450
	管 渠 費	342,326,646	298,245,855	44,080,791	303,759,169	5,513,314
	処 理 場 費	2,743,508,361	2,780,412,379	△ 36,904,018	2,647,501,538	△ 132,910,841
	雨 水 排 水 費	42,989,742	40,360,832	2,628,910	42,989,742	2,628,910
	普 及 奨 励 費	16,047,414	14,103,475	1,943,939	16,019,778	1,916,303
	業 務 費	396,787,005	397,259,552	△ 472,547	391,469,023	△ 5,790,529
	総 係 費	284,354,811	324,450,802	△ 40,095,991	253,146,090	△ 71,304,712
	減 価 償 却 費	6,153,638,264	5,709,502,508	444,135,756	5,928,568,001	219,065,493
	資 産 減 耗 費	14,734,134	2,383,082,888	△ 2,368,348,754	13,780,500	△ 2,369,302,388
	営 業 外 費 用	684,047,381	736,249,695	△ 52,202,314	663,746,308	△ 72,503,387
	支 払 利 息	670,331,261	725,951,232	△ 55,619,971	650,030,188	△ 75,921,044
	雑 支 出	13,716,120	10,298,463	3,417,657	13,716,120	3,417,657
	特 別 損 失	27,994,400	10,873,901	17,120,499	20,300,227	9,426,326
	固 定 資 産 売 却 損	15,015,251	11,967	15,003,284	15,015,251	15,003,284
	過 年 度 損 益 修 正 損	5,284,976	10,861,934	△ 5,576,958	5,284,976	△ 5,576,958
	そ の 他 特 別 損 失	7,694,173	—	7,694,173	—	—

支出増減額の主な理由

(科目) 下水道事業費用・営業費用・管渠費	44,080,791 円
・集落排水事業を法適用したことに伴い、会計を下水道事業へ統合したことによる委託料及び修繕費の増	
(科目) 下水道事業費用・営業費用・処理場費	△ 36,904,018 円
・中部下水処理場維持管理業務委託が皆減したことにより、委託料が減したこと等による減	
(科目) 下水道事業費用・営業費用・総係費	△ 40,095,991 円
・退職給付引当金の取崩が減したことにより、引当金繰入額が減したため	
(科目) 下水道事業費用・営業費用・減価償却費	444,135,756 円
・中部第三排水区（尾上町ほか）雨水渠推進工事など前年度に供用開始し、当年度から償却開始となったものが増したこと及び集落排水事業分が皆増したため	
(科目) 下水道事業費用・営業費用・資産減耗費	△ 2,368,348,754 円
・中部下水処理場の機能停止に伴い資産を除却したことによる資産減耗費の減	
(科目) 下水道事業費用・営業外費用・支払利息	△ 55,619,971 円
・企業債残高の減少等に伴う企業債利息の減	

【参考】支出増減額の主な理由（集排を除く）

(科目) 下水道事業費用・営業費用・処理場費	△ 132,910,841 円
・中部下水処理場維持管理業務委託が皆減したことにより、委託料が減したこと等による減	
(科目) 下水道事業費用・営業費用・総係費	△ 71,304,712 円
・退職給付引当金の取崩が減したことにより、引当金繰入額が減したため	

6 経営状況の推移

(1) 純利益（純損失）

(単位：円)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度比較 (6年度－5年度)
現 計 予 算 (A)	897,449,000	901,450,000	△ 410,398,000	859,637,000	1,270,035,000
決 算 (B)	1,163,002,346	1,092,699,960	△ 367,288,465	1,248,818,899	1,616,107,364
予 決 比 較 (B－A)	265,553,346	191,249,960	43,109,535	389,181,899	

【参考】下水道使用料の推移

(単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度比較 (6年度－5年度)
7,468,774,975	7,407,378,089	7,385,988,689	7,544,118,629	158,129,940

(2) 経営分析

(単位：%)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度比較 (6年度－5年度)	全国平均 令和5年度	算定式	好ましい 状況
営 業 収 支 比 率	91.9	91.7	74.3	92.4	18.1	64.6	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	100%以上
経 常 収 支 比 率	110.6	110.3	97.2	111.9	14.7	105.1	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	100%以上
総 収 支 比 率	110.6	110.2	97.1	111.7	14.6	105.1	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	100%以上

(3) 財務分析

(単位：%)

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度比較 (6年度－5年度)	全国平均 令和5年度	算定式	好ましい 状況
固 定 比 率	146.2	141.1	137.0	131.2	△ 5.8	145.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	100%以下
流 動 比 率	158.6	169.8	199.9	210.8	10.9	78.2	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	100%以上

7 企業債の状況

(1) 企業債の推移

(単位：円)

年 度	企 業 債 発 行 額	集落排水事業引継分	元 金 償 還 額	支 払 利 息	元 利 合 計	未 償 還 残 高
令和2年度	2,079,000,000		6,568,861,442	1,018,347,761	7,587,209,203	66,468,918,107
令和3年度	2,745,900,000		6,321,270,314	900,020,765	7,221,291,079	62,893,547,793
令和4年度	2,040,400,000		6,105,201,451	796,039,991	6,901,241,442	58,828,746,342
令和5年度	2,502,300,000		5,793,554,093	725,951,232	6,519,505,325	55,537,492,249
令和6年度	826,200,000	1,163,640,057	5,786,980,057	670,331,261	6,457,311,318	51,740,352,249

(2) 借入先別最高・最低利率（令和6年度末現在）

借 入 先	最高利率（借入年度）	最低利率（借入年度）
財 務 省	3.40%（平成8年度）	0.002%（令和元年度）
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	2.35%（平成9年度）	0.004%（令和元年度）
独 立 行 政 法 人 郵 便 貯 金 ・ 簡 易 生 命 保 険 管 理 機 構	3.40%（平成7年度）	0.9%（平成14年度）
市 中 銀 行	1.305%（令和6年度）	0.211%（令和2年度）

(3) 償還額のピーク

種 類	年 度	金 額（千円）
元 金	平成21年度	7,854,371
利 息	平成11年度	5,210,098
元 利 合 計	平成17年度	12,000,340

(注) 「元金」及び「元利合計」は、借換えに伴う償還額を除いて算定。

8 収入未済調

(単位：円)

債権区分		令和6年度						令和5年度	増減額 ③＝①－②	前年比 (%) ④＝③/②	主な 増減理由
		調定額	収入額	不納欠損額		収入未済額 ①	収入未済額 ②				
					うち 権利放棄額						
下 水 道 料	※1 令和7年3月末	9,018,137,624	8,289,988,647	3,449,052	0	724,699,925	725,567,563	△867,638	△0.1%	催告等により、納付が進んだもの。	
	令和7年5月末	9,009,268,623	8,966,715,135	3,449,052	0	39,104,436	40,033,249	△928,813	△2.3%		
下 水 道 金	受 益 者 負 担 金	令和7年3月末	8,841,242	8,619,092	37,750	0	184,400	441,930	△257,530	△58.3%	催告等により、納付が進んだもの。
	令和7年5月末	8,841,242	8,719,562	37,750	0	83,930	359,690	△275,760	△76.7%		
下 水 道 金	受 益 者 分 担 金	令和7年3月末	714,962	699,212	0	0	15,750	33,580	△17,830	△53.1%	催告等により、納付が進んだもの。
	令和7年5月末	714,962	714,962	0	0	0	13,260	△13,260	皆減		
水 洗 便 所 金	改 築 資 金	令和7年3月末	29,960,059	20,414,945	0	0	9,545,114	13,515,029	△3,969,915	△29.4%	催告等により、納付が進んだもの。
	貸 付 還 金	令和7年5月末	29,960,059	20,586,265	0	0	9,373,794	11,716,629	△2,342,835	△20.0%	
競 争 入 札 金	※2 妨 害 事 件 金	令和7年3月末	1,869,600	0	0	0	1,869,600	1,869,600	0	0.0%	法人の事業休止等により、徴収停止を行ったもの。
	令和7年5月末										
合 計	令和7年3月末	9,059,523,487	8,319,721,896	3,486,802	0	736,314,789	741,427,702	△5,112,913	△0.7%		
	令和7年5月末	9,050,654,486	8,996,735,924	3,486,802	0	50,431,760	53,992,428	△3,560,668	△6.6%		

・公営企業会計については、3月末が決算の基準日であるため、上段に令和7年3月末の額を記載しております。なお、令和7年5月末のものを下段書きしております。

※1 下水道使用料の令和5年度収入未済額については、集落排水事業分を含んだ額を記載しております。

※2 平成15年に旧三和町が発注した工事の指名競争入札に際しての不正行為に対して、平成18年に賠償金を請求していたものです。

当該法人は事業を停止しており、債権回収の見込みがないことから、令和4年8月23日付で地方自治法施行令第171条の5第1号による徴収停止を行っております。

(参考) 長崎市の令和6年度の収入未済額 (一般会計・特別会計・公営企業会計)

分類	令和 6 年度	令和 5 年度	増減額	前年比 (%)
	収入未済額 ①	収入未済額 ②		
			③＝①－②	④＝③/②
一般会計／特別会計	3, 315, 404, 289	3, 684, 246, 296	△368, 842, 007	△10. 0%
公営企業会計	100, 354, 478	106, 953, 060	△6, 598, 582	△6. 2%

・公営企業会計については、令和7年5月末の額を記載しております。

・公営企業会計の令和5年度収入未済額については、集落排水事業を含んだ額を記載しております。

9 不納欠損処分調

(単位：件・円)

年 度	区 分		破 産	消 滅 時 効	執 行 停 止	そ の 他	合 計
令和 6 年度	下水道使用料	世 帯 数	13	546	—	—	559
		件 数	32	2,413	—	—	2,445
		金 額	283,394	3,165,658	—	—	3,449,052
	受益者負担金 ・ 分担金	世 帯 数	—	2	—	—	2
		件 数	—	13	—	—	13
		金 額	—	37,750	—	—	37,750
合計		金 額	283,394	3,203,408	—	—	3,486,802

(注) 世帯は対象者数を表示している。件数は、調定月数を表示している。

※令和6年度より集排分を含む

消滅時効の内訳

(単位：件・円)

(単位：円)						
年 度	区 分		死 亡	所 在 不 明	生活困窮等	合 計
令和 6 年度	下水道使用料	世 帯 数	115	204	227	546
		件 数	469	940	1,004	2,413
		金 額	522,946	1,107,793	1,534,919	3,165,658
	受益者負担金 ・分担金	世 帯 数	—	—	2	2
		件 数	—	—	13	13
		金 額	—	—	37,750	37,750
	合計	金 額	522,946	1,107,793	1,572,669	3,203,408

〈参考〉令和5年度までの下水道使用料不納欠損処分推移

(単位：件・円)

年 度		令 2 年 和 度	令 3 年 和 度	令 4 年 和 度	令 5 年 和 度
下水道使用料	世 帯 数	744	667	655	625
	件 数	2,847	2,576	2,757	2,600
	金 額	4,243,143	3,881,939	3,960,406	4,310,173
受益者負担金 ・分担金	世 帯 数	11	8	1	2
	件 数	128	81	12	24
	金 額	494,122	447,276	96,506	68,810
合 計	金 額	4,737,265	4,329,215	4,056,912	4,378,983

(注) 世帯は対象者数を表示している。件数は、調定月数を表示している。

10 主要な建設改良事業

(1) 下水道ストックマネジメント（施設の老朽化対策）事業（決算書21～25ページ）

事業費 1,463,253,202円

ア 概要

老朽化等による事故発生や機能停止を未然に防止するため、下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査及び修繕・改築を行っている。

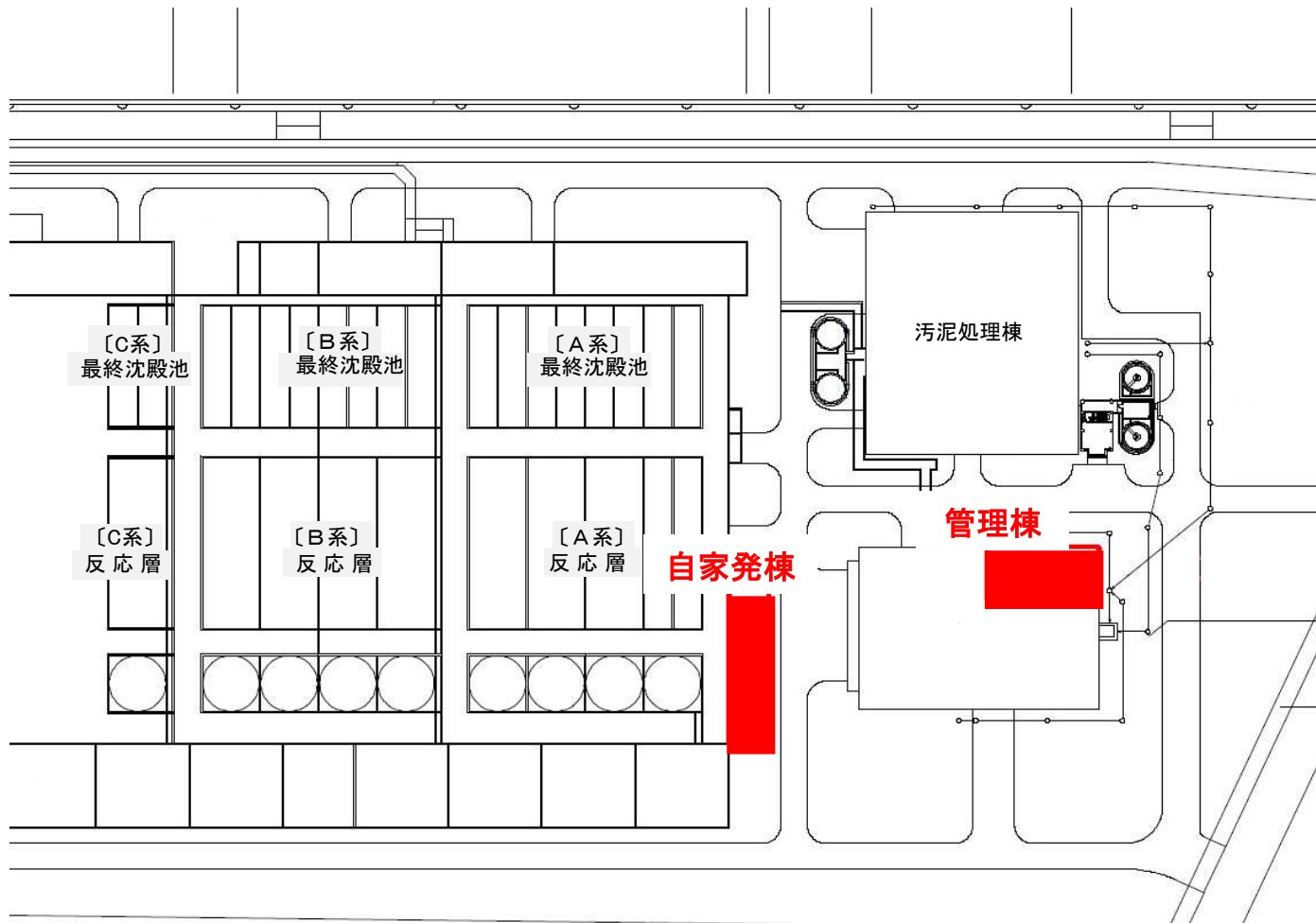
イ 事業内容

主な事業箇所	事業費	事業の概要
西部下水処理場自家発電設備改築工事（R5～R7）	564,067,000円 事業費総額 (870,667,600円)	自家発電設備の改築
東部下水処理場No.1 汚泥脱水設備改築機械工事（R5～R7）	218,000,000円 事業費総額 (673,200,000円)	汚泥脱水設備の改築
污水管更生工事（魚の町、浜口町ほか）	281,743,000円	污水管 $\phi 200 \sim \phi 600$ L = 2,244m

西部下水処理場自家発電設備改築工事

一般平面図

今回工事箇所



盤完成 工場写真



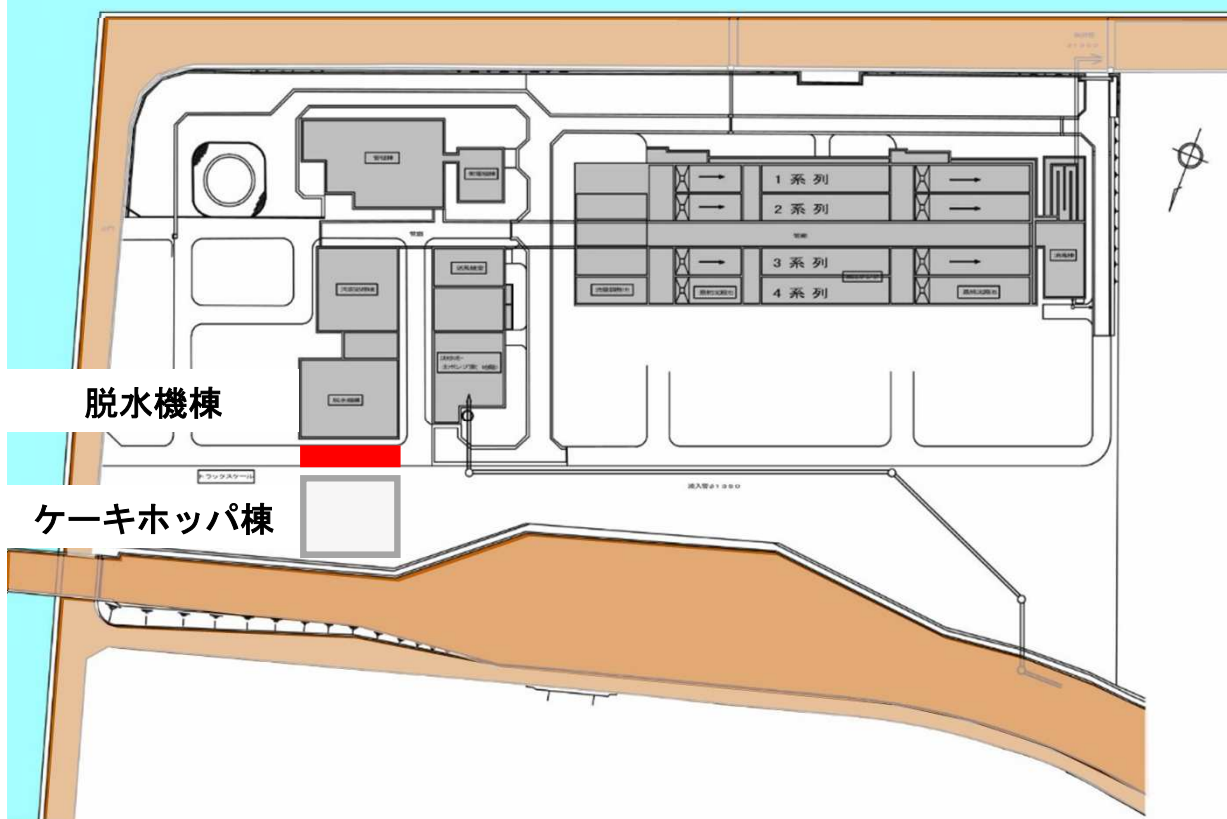
発電機完成 工場写真

(自家発電設備の状況)
平成4年設置 33年経過
(令和6年度施工内容)
・自家発電設備 一式
施工中

※自家発電設備とは、下水処理場が停電し、電力供給会社からの電源の供給が無くなった際に非常用発電設備（非常用発電機等）から電力を発生させ下水処理場の復電を行う設備。

東部下水処理場No. 1 汚泥脱水設備改築機械工事

一般平面図



今回工事箇所

脱水機棟

ケーキホッパ棟

(汚泥脱水設備の状況)

平成10年度設置 27年経過

(令和6年度施工内容)

No. 3ケーキ搬出機架台 1基 設置

No. 3ケーキ搬出機 無軸スクリーコンベア
スパイラル径φ285×11m (水平)

※ケーキ搬出機とは脱水した汚泥をケーキホッパへ搬送する設備。



改築前



改築後

污水管更生工事

＜管内カメラ調査（R1(H31)～R4）により把握した劣化状況＞

緊急度Ⅰ (速やかに措置)	緊急度Ⅱ (5年以内に措置)	緊急度Ⅲ (軽微な補修が必要)	劣化なし	計
1,555m	11,037m	31,148m	59,483m	103,223m
(5か年事業計 12,592m)				

＜管更生の計画及び進捗状況＞

	R6	R7（予定）	R8（予定）	R9（予定）	R10（予定）	合計
事業費	239.4百万円	328百万円	354百万円	358百万円	292.3百万円	1,614百万円
施工延長	2,045m	1,613m	1,506m	3,554m	3,874m	12,592m

＜マンホール更生の計画＞

	R6	R7（予定）	R8（予定）	R9（予定）	R10（予定）	合計
事業費	—	26.6百万円	36.2百万円	23.1百万円	23.8百万円	109.7百万円
施工箇所	—	5箇所	6箇所	7箇所	7箇所	25箇所

污水管・マンホール更生工事

污水管更正

更正前



更正後



マンホール更正

更正前



更正後



(2) 下水道施設統合整備事業（決算書21～25ページ）

事業費 107,734,700円

ア 概要

近年の人口減少に伴う使用料収入の減少、施設等の老朽化に伴う大量更新時期の到来等により事業環境は厳しさを増しており、効率的な事業運営が一層求められている。令和6年度は以下の事業を実施し、集落排水処理施設を公共下水道へ統合し、し尿等を公共下水道に投入するため詳細設計等を実施したほか、用途廃止した中部下水処理場の解体を進めている。

イ 事業内容

主な事業箇所	事業費	事業の概要
集落排水統合詳細設計業務委託	62,547,100円	設計業務
西部下水処理場し尿等受入施設実施設計（詳細設計）書作成委託	37,800,000円	設計業務

集落排水処理施設を公共下水道へ統合

集落排水施設位置図及び
下水道への統合イメージ図

大江・形上・大子地区(農集)
→大平浄化センター(下水道)へ統合

琴海中部地区(農集)
→琴海南部浄化センター(下水道)へ統合【再検討】

南風泊地区(漁集)
→高島浄化センター(下水道)へ統合

樺島地区(漁集)
→脇岬浄化センター(下水道)へ統合
野母地区(漁集)
→脇岬浄化センター(下水道)へ統合・【再検討】

【業務内容】

- ・管路の詳細設計
開削工法 $L=11,997m$
- ・マンホールポンプの詳細設計
マンホールポンプ 10箇所

太田尾地区(農集)
→東部下水処理場(下水道)へ統合【再検討】

評価	集落排水施設(地区)	統合先及び評価	接続予定
公共下水道に接続	1 大江・形上、大子(農集)	統合	大平浄化センターへ
	2 南風泊(漁集)		高島浄化センターへ
	3 樺島(漁集)		脇岬浄化センターへ
	4 太田尾(農集)	再検討	東部下水処理場へ
	5 琴海中部(農集)		琴海南部浄化センターへ
	6 野母(漁集)		脇岬浄化センターへ
継続利用	7 小口(農集) 8 高浜本村、黒浜・以下宿 9 野野串(農・漁混合)	継続して利用し、 更新時に施設規模等の見直しを行う。	

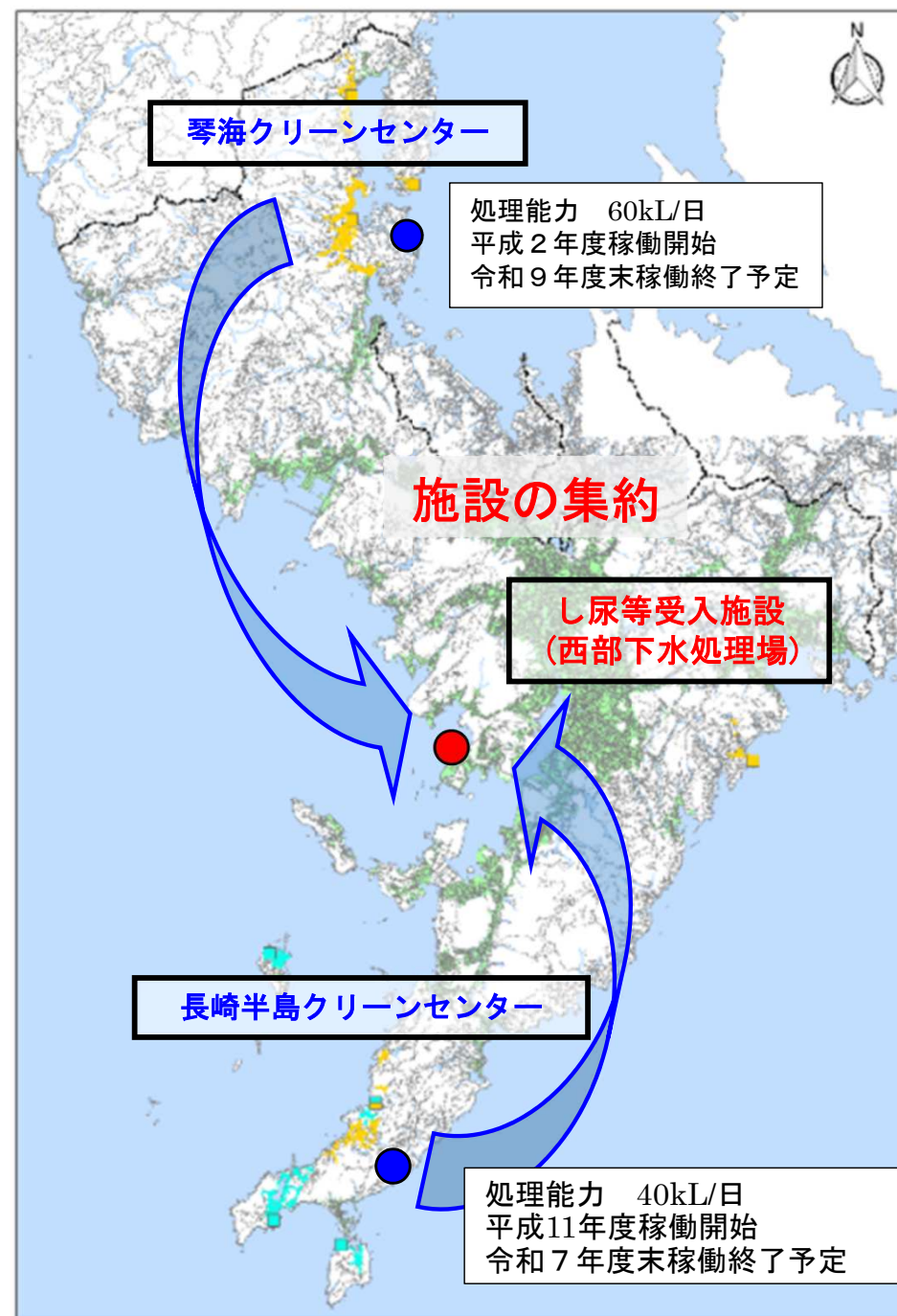
西部下水処理場 し尿等受入施設建設

- (1)事業期間 令和5年～9年度
- (2)処理能力 約60kL/日
- (3)建築面積 約500m²(20m×25m)
- (4)建物規模 地下1階地上2階建て
- (5)建物高さ 約12m

(スケジュール)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10
基本設計	→					
詳細設計		→				
建設工事			→	→	→	
稼働						→

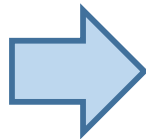
し尿等受入施設イメージ



西部下水処理場し尿等受入施設詳細設計委託

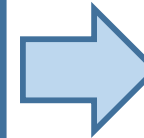
R5年度 基本設計

- ・施設の配置計画
- ・施設の仕様検討
- ・ボーリング調査 等



R6年度 詳細設計

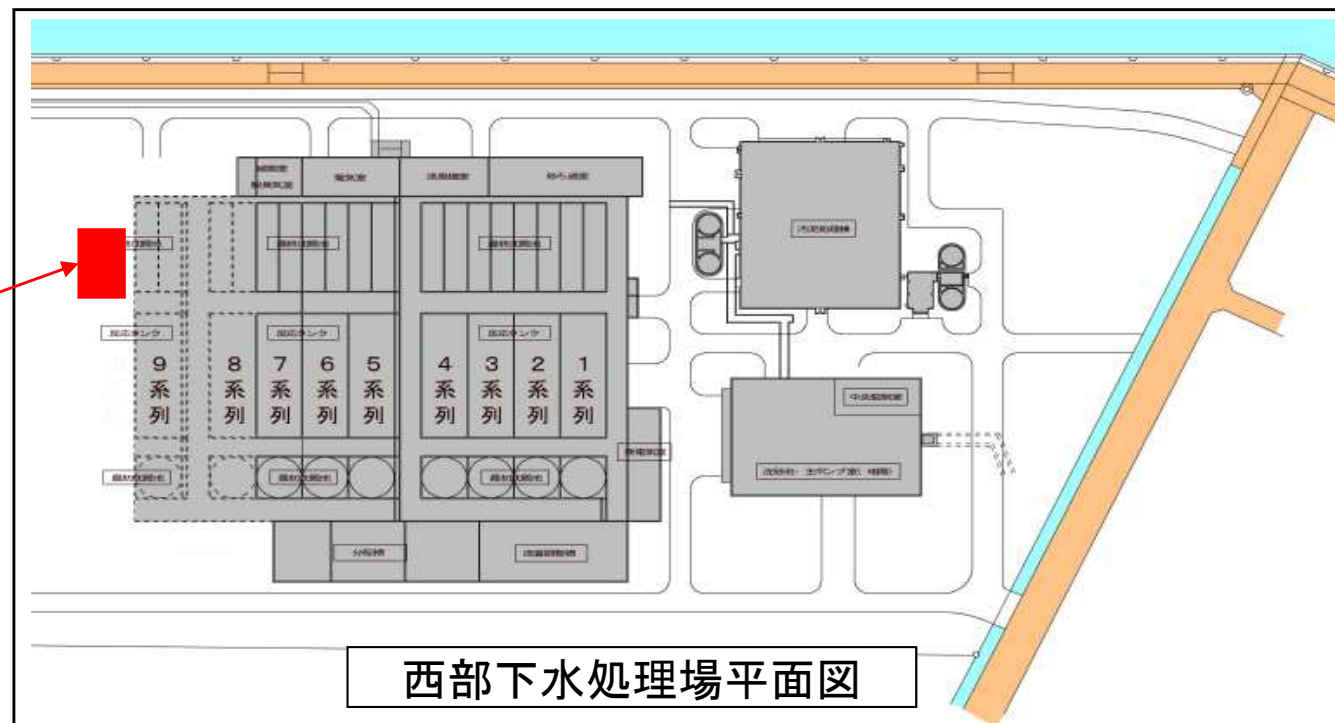
- ・受入施設建屋
- ・し尿受入槽、希釈混合槽
- ・機械設備
〔スクリーン設備、脱臭設備、
ポンプ設備等〕



R7～9年度 建設工事

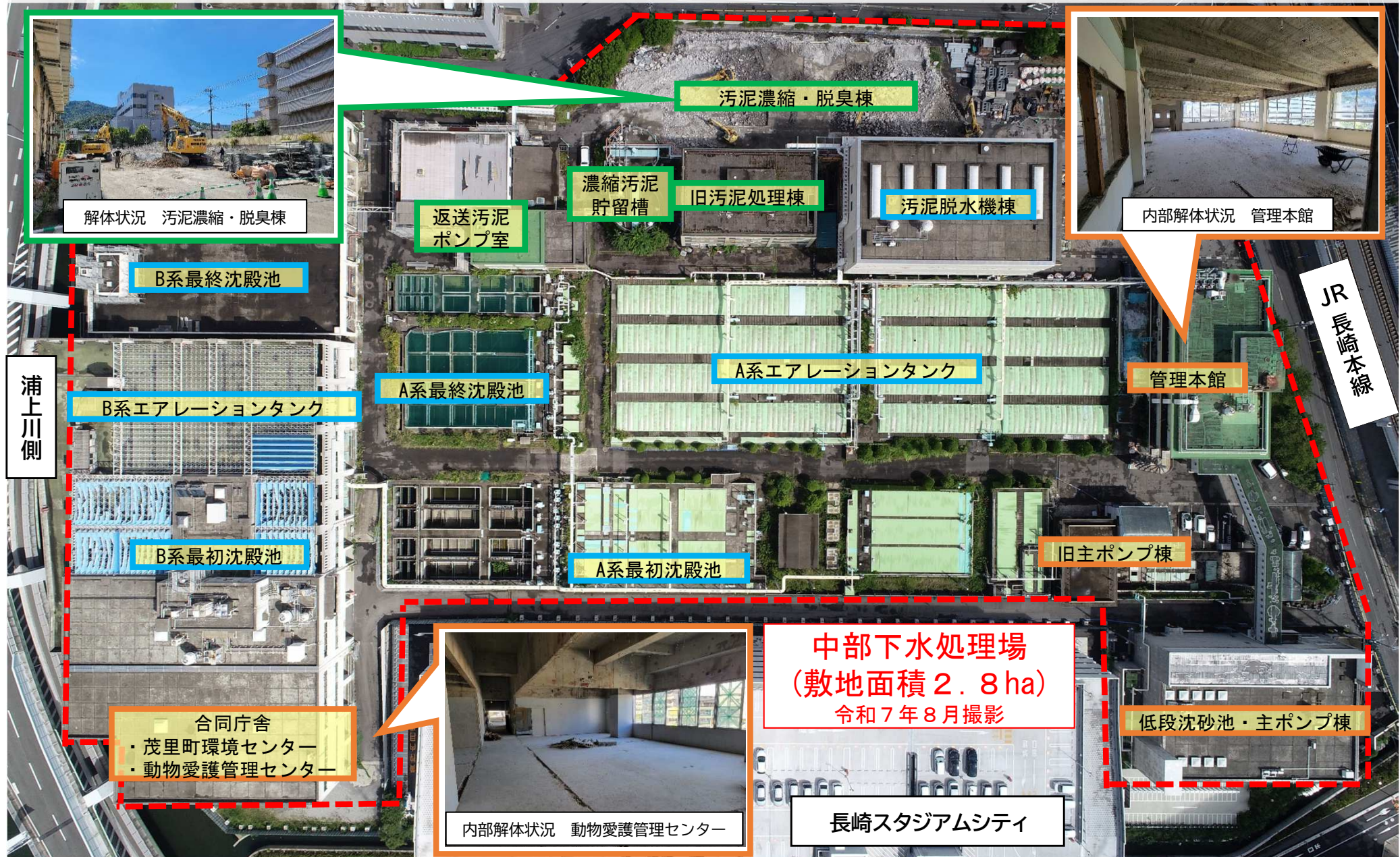
- ・土木建築工事
- ・機械工事
- ・電気工事
- ・場内整備工事

建設予定地



【参考】中部下水処理場の解体状況

 : 令和7年度
 : 令和8年度
 : 令和9年度



(3) 公共下水道雨水建設事業（決算書21～25ページ）

事業費 19,495,300円

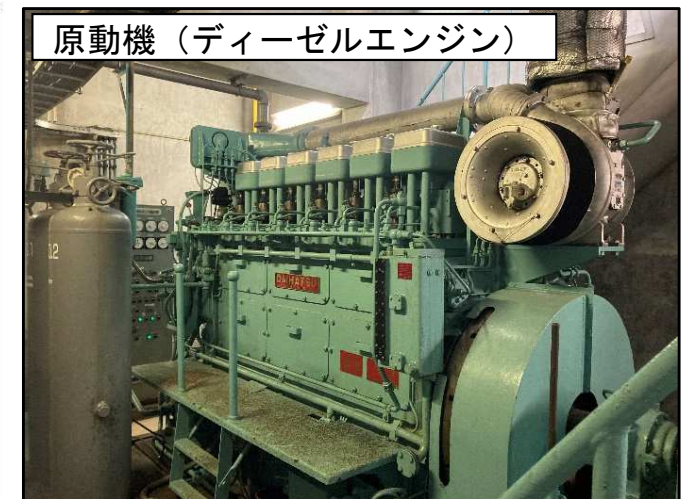
ア 概要

潮位の影響を受けやすい河川や海沿いの低地地区や河川の流下能力が不足する地区では、集中豪雨などが発生した場合、雨水が河川や側溝などで十分に排除できず道路冠水などが度々発生している。

そのような地区において、雨水の浸水の防除のため、雨水管渠の整備を実施している。

イ 事業内容

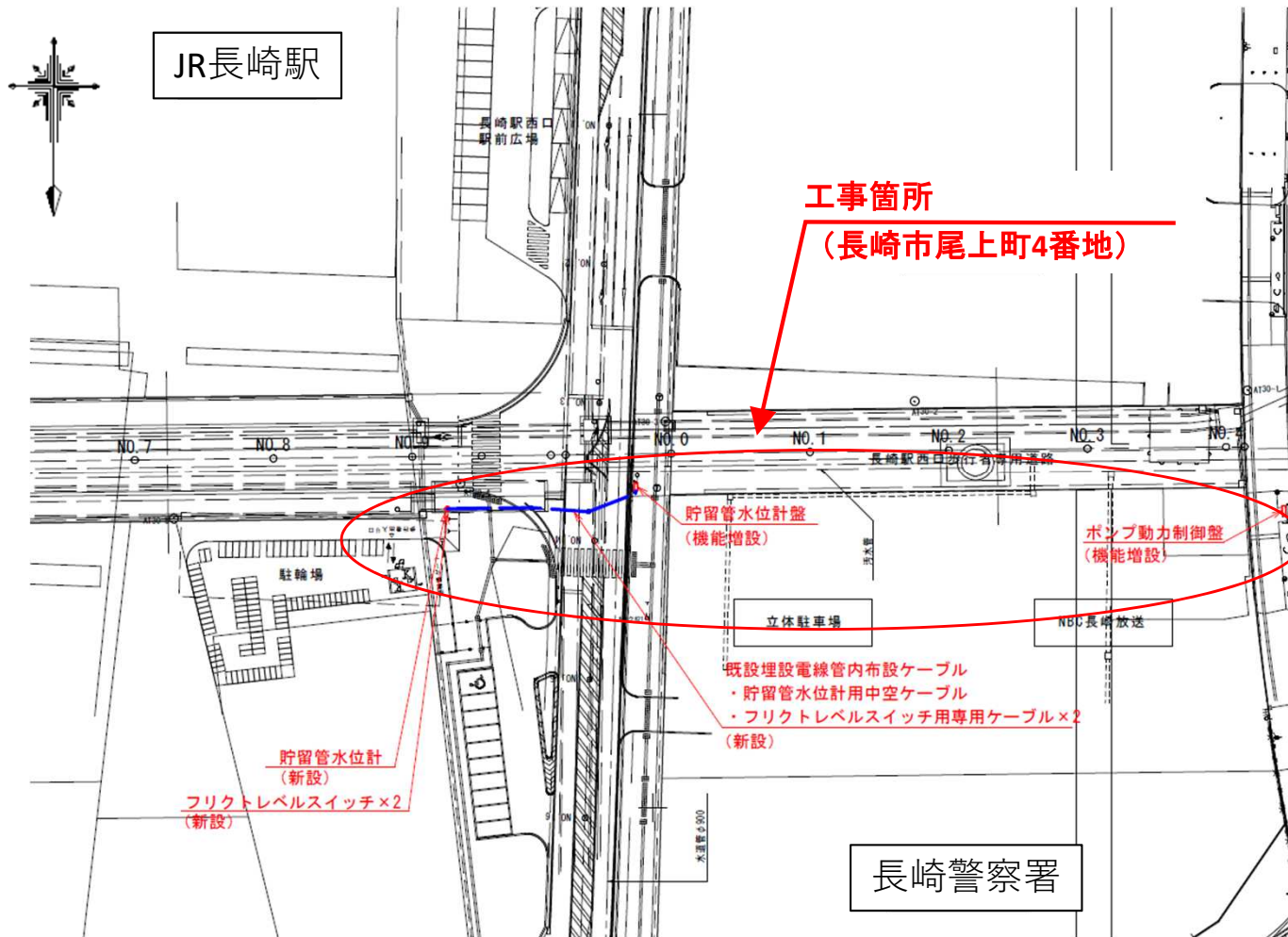
主な事業箇所	事業費	事業の概要
中部茂里町第1雨水排水ポンプ場 改築詳細設計業務委託	9,819,700円	中部茂里町第1雨水排水ポンプ場の雨水排水ポンプ改築の設計（機械・電気）
中部第三排水区中部尾上町雨水排水ポンプ場貯留管水位計設置工事	8,250,000円	雨水貯留管内の水位計の設置



老朽化した雨水排水ポンプ及び電気設備を改築するため詳細設計を行うもの。

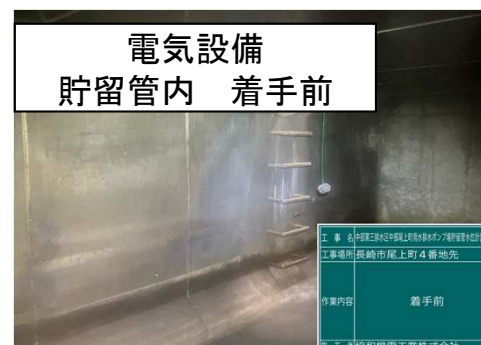
- ・ポンプ能力：275.52m³/分
- ・設置年
排水ポンプ：S52年（経過年数：46年）
原動機：S52年（経過年数：46年）
電気設備：S63年（経過年数：35年）

中部第三排水区中部尾上町雨水排水ポンプ場貯留管水位計設置工事



中部第三排水区雨水貯留管内に水位計を設置し、電気設備盤の機能増設を行うもの。

- ・ポンプ能力：13m³/分×2
- ・運用開始年月
R3年3月25日（経過年数：3年）



(4) 污水管渠・下水処理場等整備事業（決算書21～25ページ）

事業費 588,725,641円

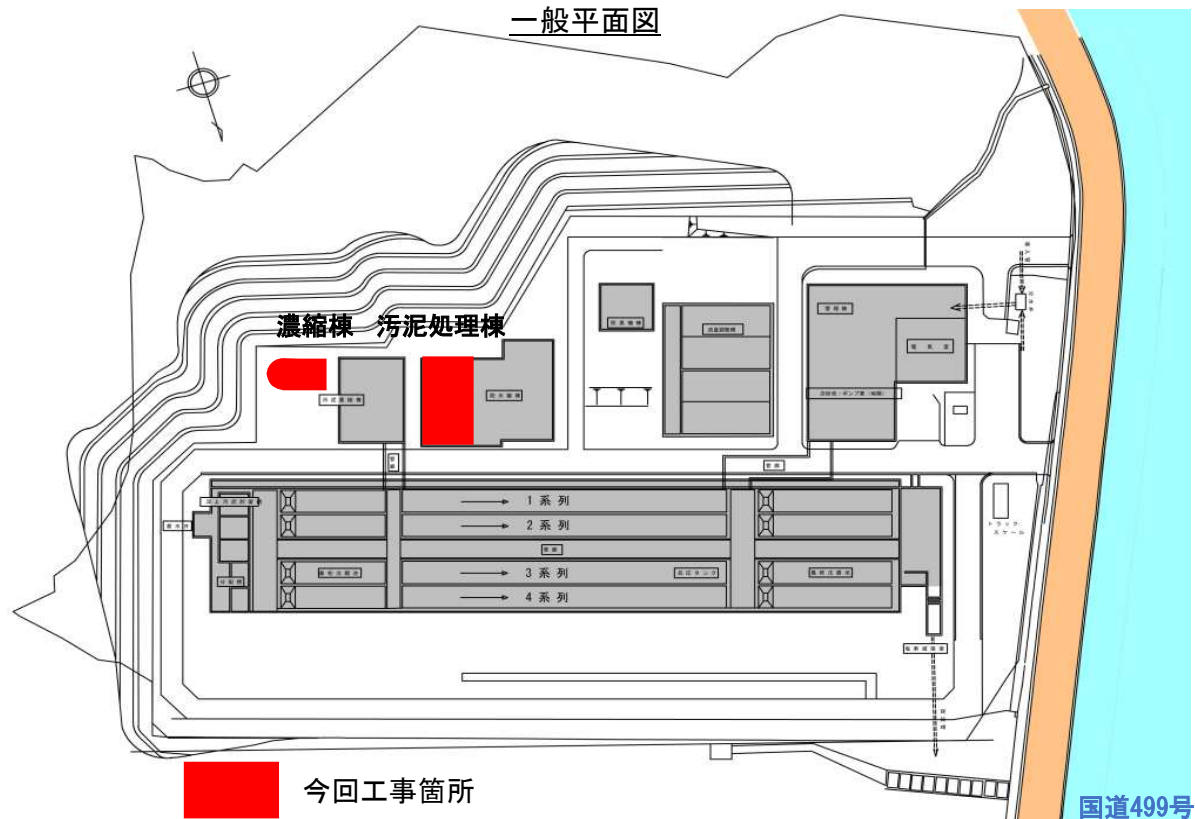
ア 概要

円滑な排水を促進するための污水管渠の再構築や、適正な維持管理を図るため下水処理場の整備を実施している。

イ 事業内容

主な事業箇所	事業費	事業の概要
南部下水処理場初沈汚泥濃縮設備電気工事	114,400,000円	初沈汚泥濃縮設備の増設
南部下水処理場初沈汚泥濃縮設備機械工事	94,694,600円	初沈汚泥濃縮設備の増設 重力濃縮槽搔寄機、生汚泥移送ポンプほか
東部下水処理場ケーキホッパ棟建築電気工事	22,810,700円	ケーキホッパ棟建築電気設備の新設

南部下水処理場初沈汚泥濃縮設備電気工事



運転操作設備



建築電気設備



(既設初沈汚泥濃縮設備の状況)

昭和62年設置 38年経過

(令和6年度施工内容)

【新設】

- ・ 運転操作設備 一式
- ・ 建築電気設備 一式

※初沈汚泥濃縮設備とは、水処理の最初沈殿池で沈殿した汚泥をさらに沈殿濃縮する設備。

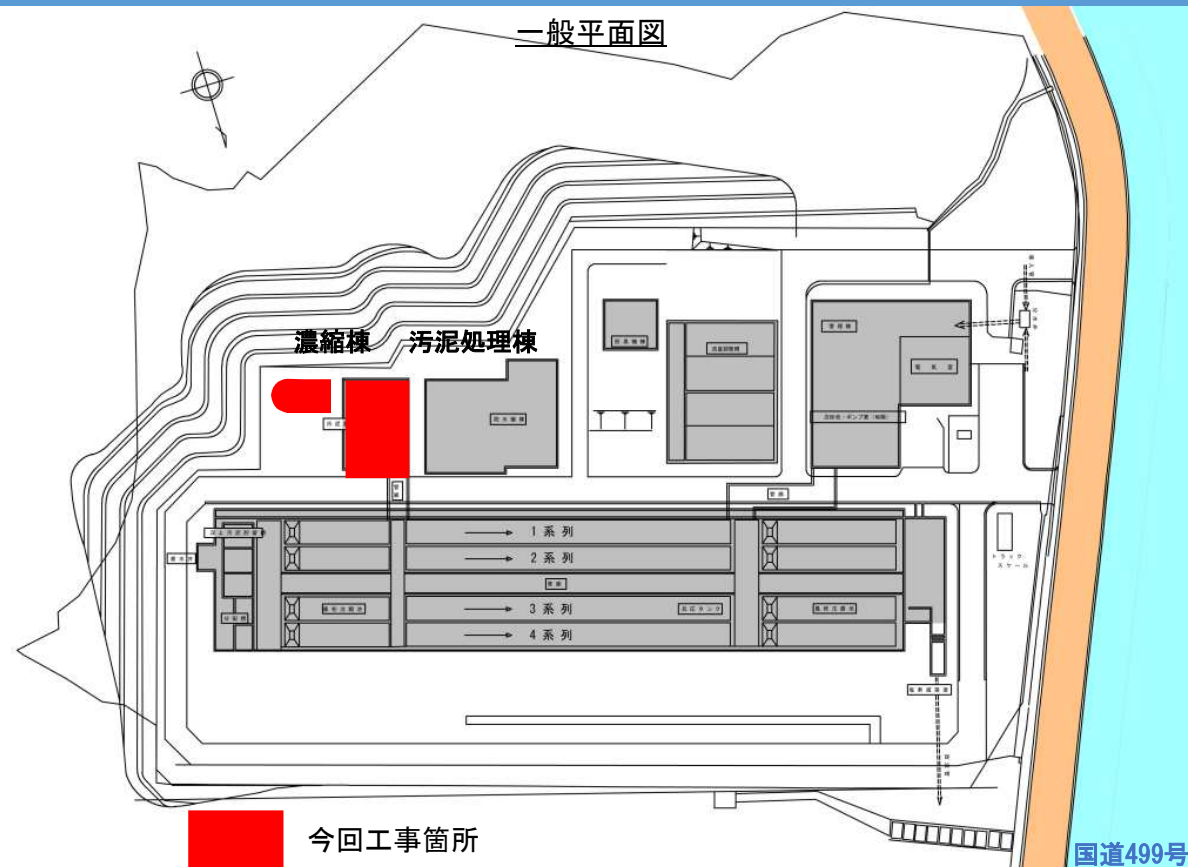
南部下水処理場初沈汚泥濃縮設備機械工事

(令和6年度施工内容)

【新設】

- ・ 汚泥濃縮設備 一式
- ・ 配管工事 一式

※水処理施設にある最初沈殿池の汚泥をさらに濃縮するための設備で、新たに重力濃縮槽内に掻寄機と濃縮した汚泥を送水するポンプ類を増築するもの。



着手前（新濃縮棟上部）



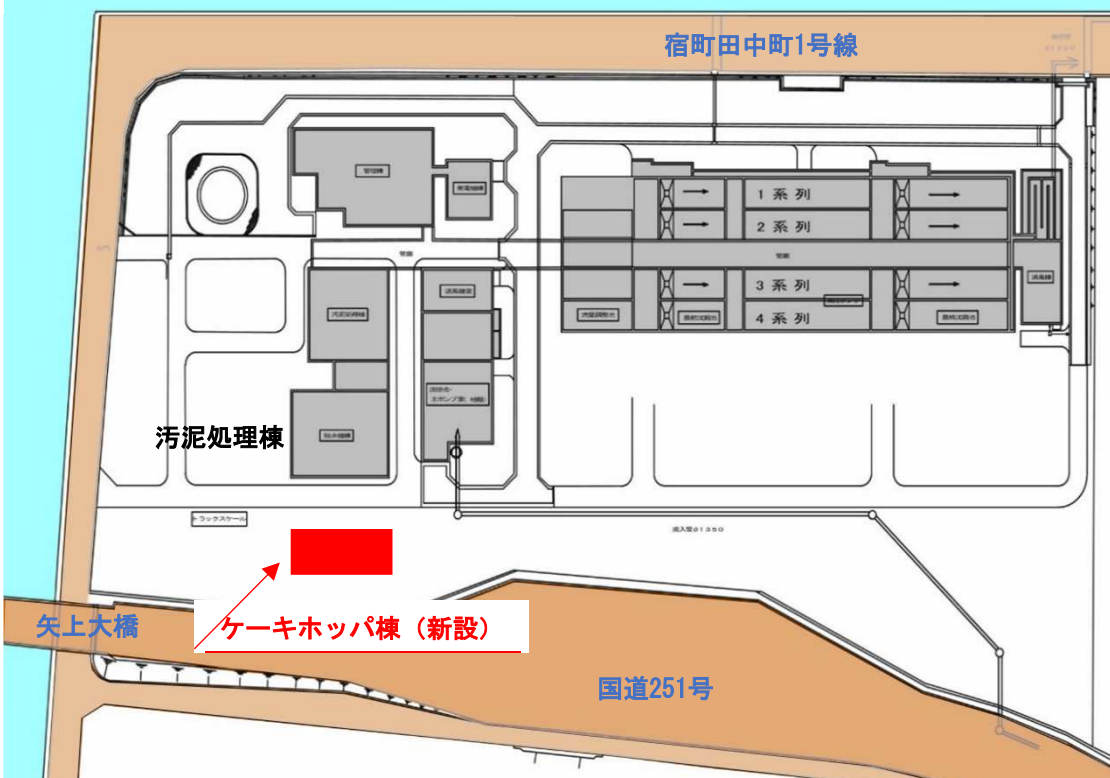
完成（新濃縮棟上部）



完成（新濃縮棟ポンプ室）

東部下水処理場ケーキホッパ棟建築電気工事

一般平面図



ケーキホッパ改築 スケジュール	R4	R5	R6	R7
建築工事	←	→		
建築設備（機電）工事		←	→	
汚泥脱水設備（機電）工事		←	→	→



（令和6年度施工内容）

【新設】

鉄筋コンクリート造2階建て

建築面積：260.95 m²

延床面積：415.83 m²

※脱水した汚泥を一時的に貯留するケーキホッパが老朽化し、既設を運用しながら改築する必要があるため、新たにケーキホッパ棟を新設したもの。



(5) 汚水改良事業（決算書21～25ページ）

事業費 70,783,863円

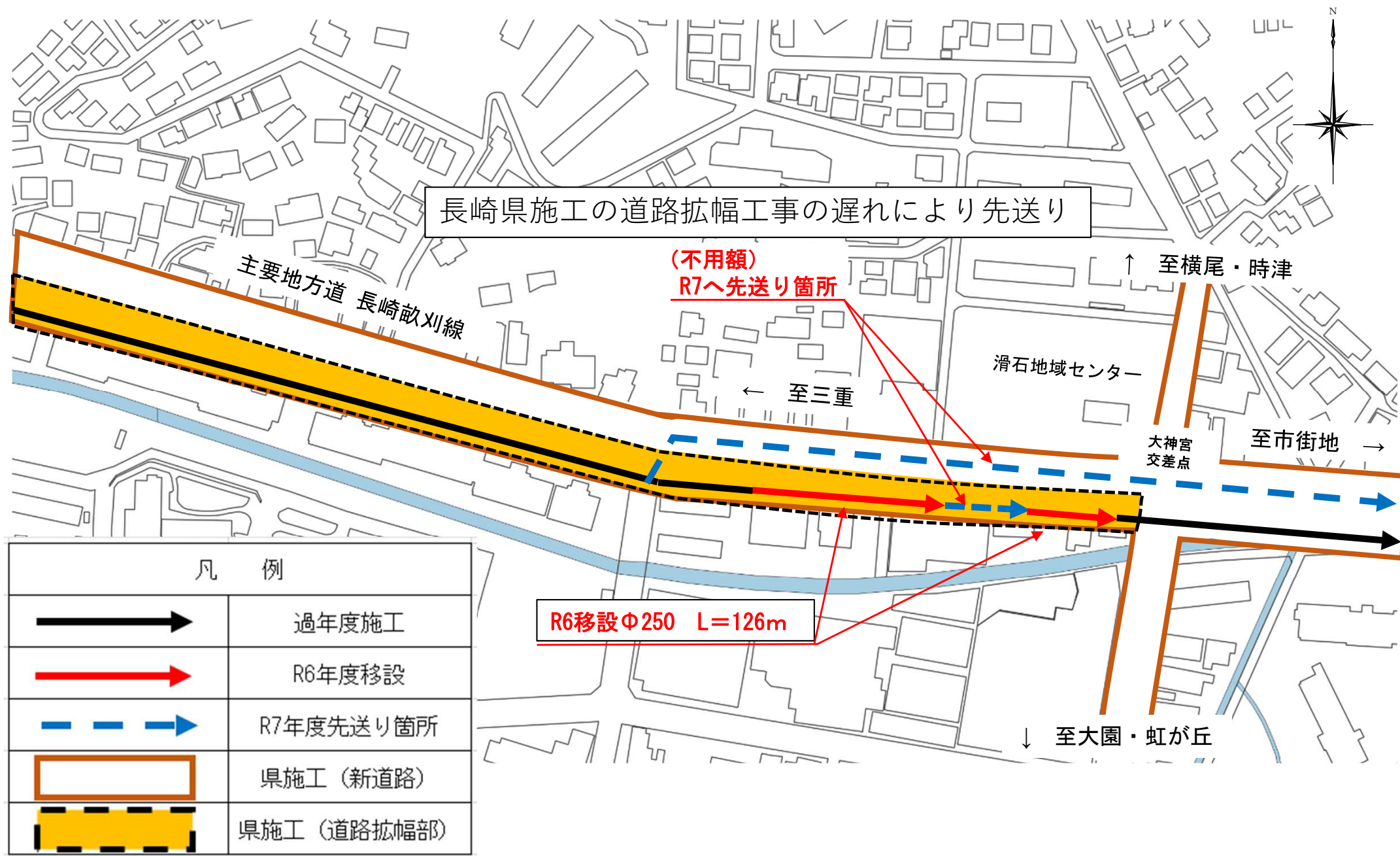
ア 概要

既設汚水管渠の移設及び下水処理場の既設設備の改良等を実施している。

イ 事業内容

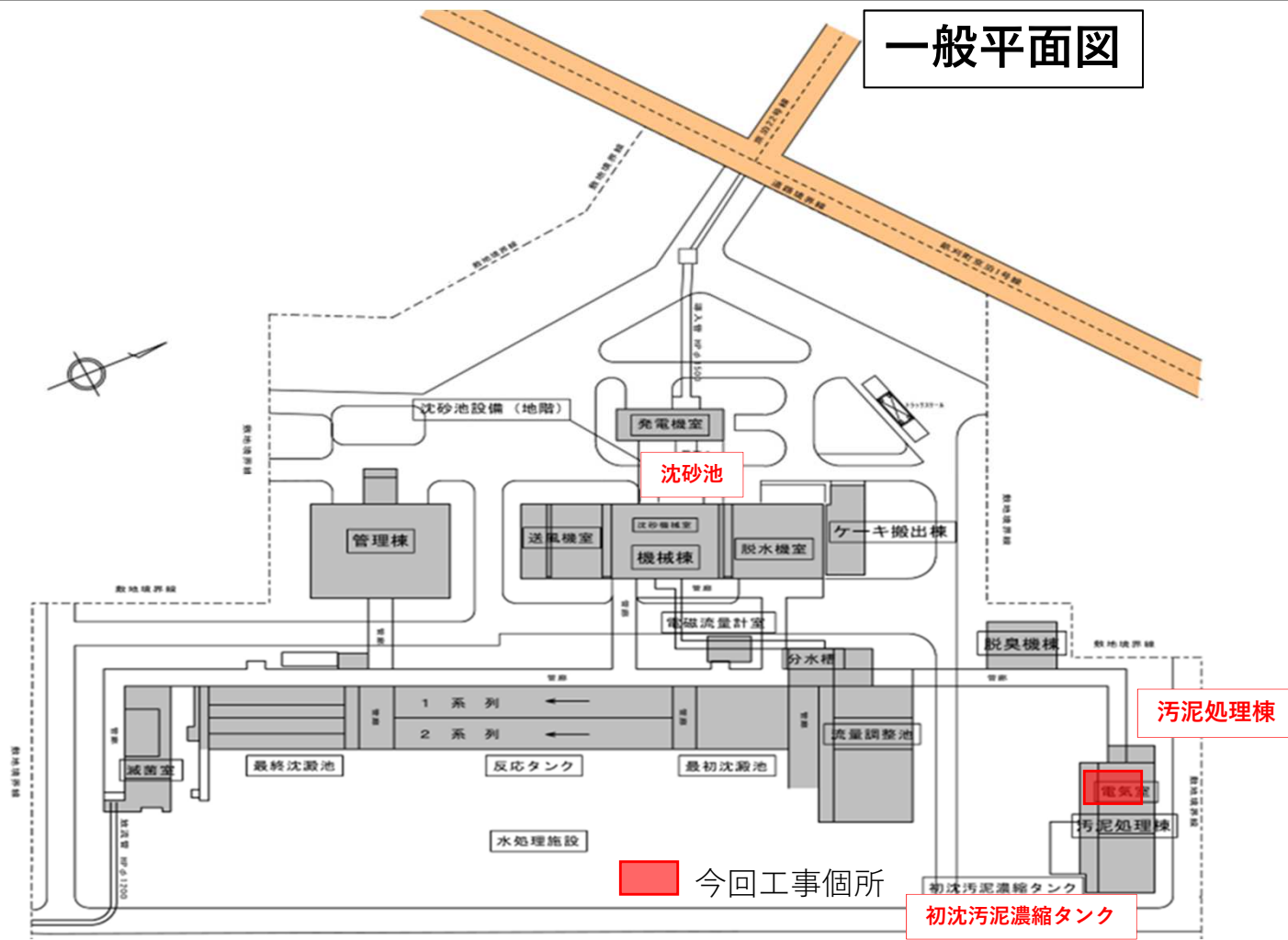
主な事業箇所	事業費	事業の概要
滑石5丁目内径 250 汚水管移設工事	21,435,700円	汚水管移設 ϕ 250 L= 126m マンホール工 2箇所
三重下水処理場スカム排水ポンプ更新工事	11,094,882円	スカム排水ポンプ設備一式

滑石5丁目内径250汚水管移設工事



三重下水処理場スカム排水ポンプ更新工事

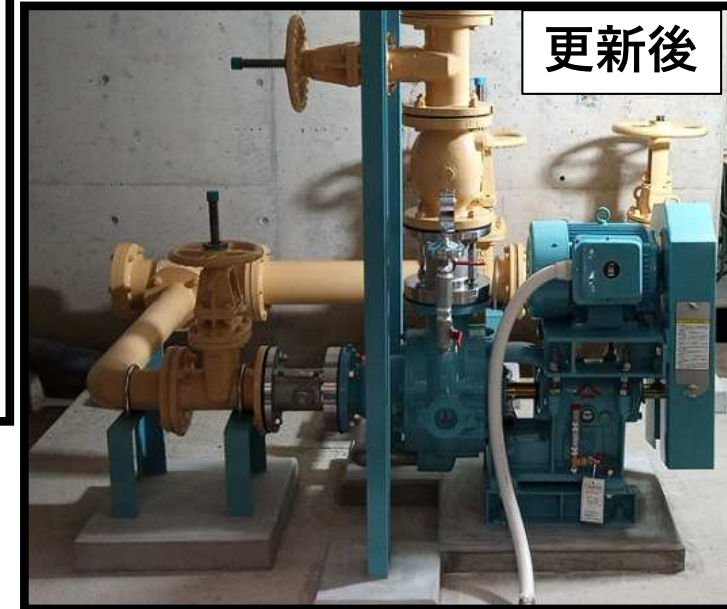
一般平面図



更新前



更新後



(スカム排水ポンプの状況)
平成2年設置 33年経過

(今回更新内容)

(1) スカム排水ポンプ更新 1台 (2) 配管・弁類 一式

※スカム排水ポンプは初沈污泥濃縮タンクの上澄の汚水を沈砂池に送るためのポンプ